

人と動物のワンヘルス

～動物と共に健康寿命を延ばすには～



ワンヘルスとは「環境の保全」「人の健康」「動物の健康」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方で、様々な研究結果が報告されています。本講習会を通して、環境と人と動物のより良い関係を築くことが豊かな生活につながることを、それぞれの立場で考えるきっかけにさせていただきたいと思います。

令和7年 2月 28日【金】 14:00～16:00

入場無料

対象者 どなたでもご参加いただけます

定員 先着100名（要事前申込/空席ある場合は当日でも参加可能）

会場 東京都医師会館 2階講堂
東京都千代田区神田駿河台2-5

申込 右のQRコードからお申込みください



講師・講演概要

五箇 公一



国立研究開発法人国立環境研究所
生物多様性領域室長

生物多様性保全と ワンヘルスアプローチ

人—動物—環境の健全性という総合的な公衆衛生管理で感染症対策に取り組むワンヘルスアプローチの重要性を、環境科学の観点から解析し、アプローチ達成のための生物多様性保全および持続的社会的構築の意義を議論します。

谷口 優



国立研究開発法人国立環境研究所
環境リスク・健康領域主任研究員

伴侶動物との生活が 人にもたらす健康効果

近年、ヒトが伴侶動物との生活で得られるメリットを示すエビデンスが蓄積されています。本講演では、我が国のシニアにおける健康の概念を整理した上で、伴侶動物がシニアにもたらす健康効果について、国内外の疫学研究の成果を基に紹介します。

西田 伸一



東京都医師会理事
医療法人社団梟社会西田医院院長

人と動物が共有できる ウェルビーイングを目指して

ワンヘルスについては人獣共通感染症の課題に限らず、共に暮らす人と動物の間に生じる生活上の諸問題を包括的に捉える必要があります。動物が社会に果たす役割の理解、独居高齢者の幸福維持と動物が残された場合のこと、災害時避難の課題等について考えます。